

株主・投資家のみなさまへ

第37期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



イヅミ産業株式会社

JASDAQ

証券コード2924



株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第37期の中間報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、産地偽装や有害物質の混入など、食品の安全性の問題が多発し、これまで以上に「安全・安心」を求められる状況であります。さらには、原油価格や穀物価格の高騰により、原材料価格や包装資材価格、また物流費が高騰するなど厳しい経営環境が続いております。

こういった環境の中、当社におきましては、販売面においては、「業務用液卵・冷凍卵の販売価格改定」を公表し、販売価格の改定を積極的に実施してまいりました。購買面においては、商品の安定供給のために原材料買付けによる積極的な在庫政策を行いました。第2四半期累計期間の業績効果としては、表面に現れず厳しい結果となりました。

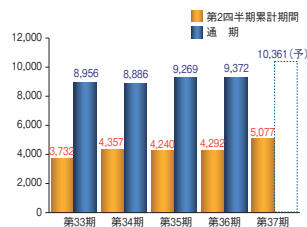
今後につきましては、衛生管理の徹底等に注力し、「安全・安心」な製品の安定供給責任を果たす事やタイムリーな情報提供と十分な状況説明を実施する事で、お取引先との信頼関係を強化してまいります。また鶏卵市況の動向を注視し、最良の原料調達と在庫政策を行い、業績の向上に邁進してまいります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

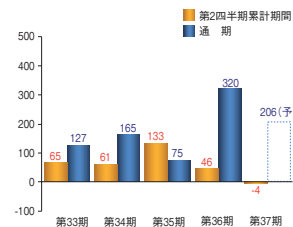
平成20年12月

代表取締役社長 藤井 徳夫

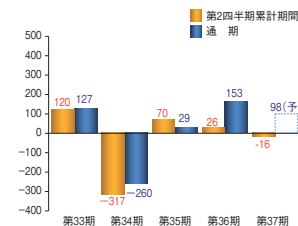
売上高 (単位：百万円)



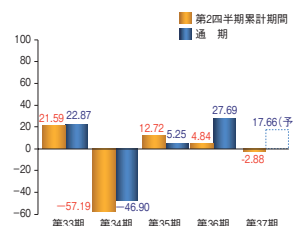
経常利益 (単位：百万円)



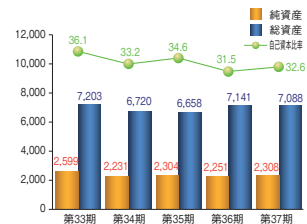
純利益 (単位：百万円)



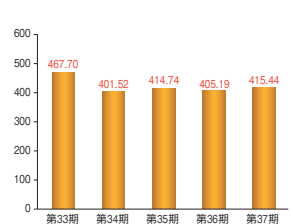
一株当たり純利益 (単位：円)



純資産・総資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%) <第2四半期末>

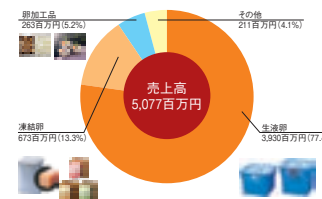


一株当たり純資産 (単位：円) <第2四半期末>



売上高構成比

<第2四半期累計期間>



	売上高(百万円)	構成比 (%)
生液卵	3,930	77.4
凍結卵	673	13.3
卵加工品	263	5.2
その他	211	4.1
合計	5,077	100.0

当第2四半期累計期間の業績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題から始まった世界的な金融市場の混乱や、原油価格や穀物価格の高騰による物価上昇圧力の高まり等により企業収益や個人消費が低迷するなど、景気の減速感がますます強まっております。

食品業界におきましては、原油価格や穀物価格の高騰により、原材料費や物流費が高騰するなど厳しい経営環境が続いております。さらには、産地偽装や有害物質の混入など食の安全性の問題が多発し、これまで以上に「安全・安心」への取り組みや情報開示が求められております。

このような状況の中、鶏卵業界におきましても、飼料価格の上昇が大きな生産コストアップの要因となり大変厳しい経営環境が続いております。

当社におきましては、大手鶏卵販売会社が鶏卵の販売価格改定の発表やえ付け羽数の減少に伴う鶏卵生産量の減少懸念など、当社の原料である鶏卵の買付け環境が日増しに厳しくなりました。このような状況を踏まえ、原料調達安定化を図り、安全安心な製品の安定供給を行うため、「業務用液卵・冷凍卵の販売価格改定」を発表し、お客様先様への販売価格の改定をお願いし実施いたしました。

当第2四半期累計期間の販売面につきましては、販売数量は既存得意先様への安定供給に注力するため新規得意先への拡販を控えたこともあり、前年同期比0.7%減となりました。また、売上高につきましては鶏卵相場（東京M基準値）が前年同期（4～9月）に比べ23.0%（約37円）高く推移したことや、販売価格改定を実施したこともあり、前年同期比18.3%増の5,077百万円となりました。

当社の商品構成別に見ますと、液卵売上高につきましては、前年同期比17.7%増の4,603百万円となりました。加工品売上高については、外食向けの茶碗蒸しベースの販売が好調に推移し売上高は前年同期比19.8%増の263百万円となりました。その他売上高は、鶏卵販売の増加により前年同期比30.5%増の211百万円となりました。

損益面につきましては、販売価格改定を実施したものの、実施時期が当第2四半期後半に集中したこともあり、原材料費の増加をカバーすることはできませんでした。さらには、原油価格の高騰等によるガス・重油等の水道光熱費の増加やお客様先様への配送運賃等が増加しました。

この結果、経常損失は4百万円（前年同期は46百万円の経常利益）、四半期純損失は16百万円（前年同期は26百万円の四半期純利益）となりました。

今後の見通しと対処すべき課題

今後のわが国経済の見通しといたしましては、原材料価格の高騰による物価上昇圧力が依然として続いていることから、個人消費が低調に推移する予想されます。また米国のサブプライムローン問題から始まった世界的な金融市場の混乱が、企業業績に影響を及ぼすことも予想され、景気の先行き不透明感が一層高まっております。

鶏卵業界におきましては、大手鶏卵販売会社による鶏卵の値上げにより、消費者の購入意欲が減退傾向にある中、農水省の生産意向調査によると、増羽意向が示されており、今後の推移次第では需給失調に陥ることが危惧されています。

こうした状況の中、当社におきましては、需要減退に伴う販売数量減が予想されるため、以下の施策によりお客様のニーズに即応できる販売生産体制を整えてまいります。

- ①品質の継続的改善による安全・安心な製品の安定供給
- ②液卵の品質改良や新製品の開発による販路拡大
- ③お客様にタイムリーな情報提供と十分な状況説明の実施
- ④安定した加工用原料卵の確保
- ⑤低コストオペレーションの推進

通期の業績見通しにつきましては、販売数量は減少するものの、鶏卵相場が高値で推移すると予想されるため、売上高は前期比10.6%増の10,361百万円、営業利益は同29.9%減の220百万円、経常利益は同35.5%減の206百万円、当期純利益は、同36.1%減の98百万円を見込んでおります。

貸借対照表 (第2四半期末)

損益計算書 (第2四半期累計期間)

貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科目	前第2四半期末 (平成19年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	2,841,255	2,989,065	2,258,524
固定資産	4,300,002	4,099,288	4,197,554
有形固定資産	3,893,672	3,710,218	3,806,354
無形固定資産	14,593	14,066	8,730
投資その他の資産	391,737	375,003	382,469
資産合計	7,141,258	7,088,354	6,456,078
(負債の部)			
流動負債	2,563,580	2,754,673	1,910,923
固定負債	2,326,221	2,025,384	2,173,192
負債合計	4,889,802	4,780,058	4,084,116
(純資産の部)			
株主資本	2,256,903	2,323,368	2,383,868
資本金	455,850	455,850	455,850
資本剰余金	366,322	366,322	366,322
利益剰余金	1,438,972	1,505,502	1,565,967
自己株式	△4,240	△4,305	△4,271
評価・換算差額等	△5,448	△15,071	△11,905
その他有価証券評価差額金	△5,448	△15,071	△11,905
純資産合計	2,251,455	2,308,296	2,371,962
負債純資産合計	7,141,258	7,088,354	6,456,078

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

比較損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	前第2四半期累計期間 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
I 売上高	4,292,964	5,077,873	9,372,242
II 売上原価	3,572,537	4,399,574	7,705,551
売上総利益	720,427	678,299	1,666,691
III 販売費及び一般管理費	670,148	675,326	1,351,902
営業利益	50,278	2,972	314,788
IV 営業外収益	15,039	11,053	45,160
V 営業外費用	18,960	18,147	39,936
経常利益又は経常損失(△)	46,357	△4,120	320,011
VI 特別利益	14,046	—	9,994
VII 特別損失	1,374	1,174	1,837
税引前四半期純利益 又は税引前四半期純損失(△)	59,029	△5,295	328,168
法人税、住民税及び事業税	51,036	11,518	172,979
過年度法人税等	—	—	24,800
法人税等調整額	△18,900	△800	△23,500
四半期純利益 又は四半期純損失(△)	26,893	△16,014	153,888

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

POINT

単位：百万円
対前年同期比 (対前期比)

■流動資産	+147	(+730)
○現金及び預金	+39	(+93)
○たな卸資産	+74	(+620) … 鶏卵相場高による在庫単価高。
■固定資産	△200	(△98) … 主な要因は、減価償却による減少。
■流動負債	+191	(+843)
○短期借入金	+348	(+880) … 在庫増加による借入金増加のため。
■固定負債	△300	(△147)
○長期借入金	△338	(△167) … 返済による減少。
■純資産合計	+56	(△63)

POINT

対前年同期比

■売上高	+18%	… 鶏卵相場(東京M基準値)が前年同期(4～9月)平均で前期に比べ37円(23%)高く推移したため。
■売上原価	+23%	
○材料費	+27%	… 上述のとおり、鶏卵相場が高く推移したが、安定供給を行うため積極的な原料調達を実施したことにより、666百万円増加。
○水道光熱費	+26%	… 原油価格の高騰等により、27百万円増加。
■販売・管理費	+1%	
○運賃	+5%	… 原油価格の高騰等により、12百万円増加。

株主資本等変動計算書

当第2四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)(単位:千円)

科 目	株 主 資 本					
	資本剰余金		利益剰余金			
	資本金	資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
			固定資産 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金	
平成20年3月31日残高	455,850	366,322	40,200	48,192	1,275,000	202,575
第2四半期累計期間中の変動額						
剰余金の配当						△44,451
別途積立金の積立					50,000	△50,000
四半期純損失						△16,014
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の第2四半期 累計期間中の変動額(純額)						
第2四半期累計期間中の変動額合計	—	—	—	—	50,000	△110,465
平成20年9月30日残高	455,850	366,322	40,200	48,192	1,325,000	92,109

(単位:千円)

科 目	株 主 資 本			評価・換算差額等	純資産 合計
	利益剰余金 その他利益剰余金 利益剰余金 合計	自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	
平成20年3月31日残高	1,565,967	△4,271	2,383,868	△11,905	2,371,962
第2四半期累計期間中の変動額					
剰余金の配当	△44,451		△44,451		△44,451
別途積立金の積立					—
四半期純損失	△16,014		△16,014		△16,014
自己株式の取得		△34	△34		△34
株主資本以外の項目の第2四半期 累計期間中の変動額(純額)				△3,166	△3,166
第2四半期累計期間中の変動額合計	△60,465	△34	△60,499	△3,166	△63,665
平成20年9月30日残高	1,505,502	△4,305	2,323,368	△15,071	2,308,296

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科 目	前第2四半期累計期間 (平成19年4月1日~ 平成19年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成20年4月1日~ 平成20年9月30日)	前 期 (平成19年4月1日~ 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△534,316	△549,588	171,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,859	△25,972	△364,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	631,557	668,903	△71,732
現金及び現金同等物の増減額	△210,617	93,342	△264,807
現金及び現金同等物の期首残高	590,499	325,691	590,499
現金及び現金同等物の第2四半期末(期末)残高	379,881	419,033	325,691

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローのポイント

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における「現金及び現金同等物の第2四半期末残高」は、419百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により使用された資金は549百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加602百万円や法人税等の支払170百万円等による資金の減少が減価償却費115百万円や仕入債務の増加91百万円等による資金の増加を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用された資金は25百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は668百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加900百万円や長期借入金の減少186百万円及び配当金の支払44百万円等によるものであります。

商号	イフジ産業株式会社 (英訳名: Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	昭和47年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2312 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL092-938-4561 (代)
従業員数	92名 (臨時従業員は除く。)
事業部	本社 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 福岡事業部 TEL 092-938-4561 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17 TEL 029-248-2311 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7 TEL 0566-72-1611 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合藪3-1 TEL 0774-99-4801
役員	代表取締役社長 藤井 徳夫 常務取締役 仁田坂 功 常務取締役 池田 賢次郎 常務取締役 藤井 宗徳 取締役 坂本 勇 常勤監査役 具島 輝幸 監査役 酒井 善浩

●詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.ifuji.co.jp>



■主要な事業内容

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

■液卵の利便性（メリット）

- ①作業効率…割卵の手間が省け効率的・衛生的です。
- ②品質の安定性…バラツキが少なく製品の均質化が図れます。
- ③経済性…鶏卵相場による価格変動に伴って起こる原料費率の不安定さを抑えることができます。
- ④貯蔵性…凍結状態であれば1~2年の保管も可能です。
- ⑤作業環境…殻付卵に比べ容積が1/3程度なので、保管スペースが小さくて済みます。また、卵殻の発生がないため作業環境がよくなります。

■商品ラインアップ

■液卵・凍結卵



■凍結卵ミニパック

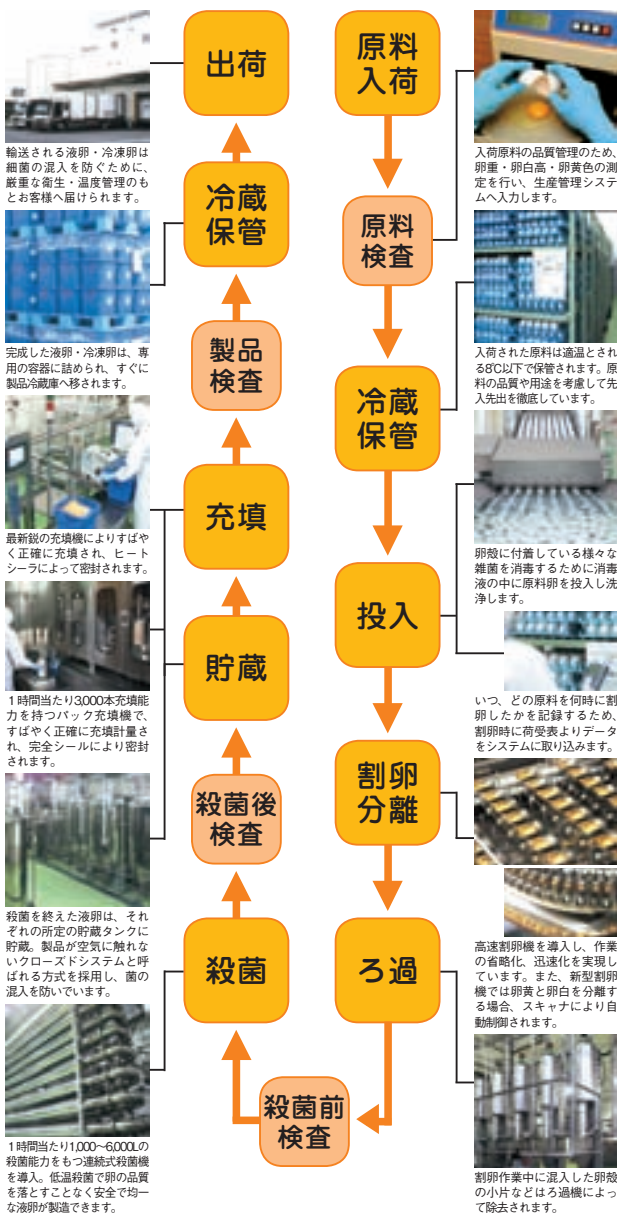
■茶碗蒸しベース



■液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全 卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵 黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵 白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

■液卵・冷凍卵の生産工程（入荷から出荷まで）



■より精緻な品質管理体制を確立
平成11年度、食品衛生法施行規則等の一部改正により、鶏卵・液卵の表示基準と規格基準が定められました。それに伴い、品質管理のさらなる充実を目指して製造工程における危害分析を行い、重要管理点を設け常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・凍結卵を提供できる体制を確立。また、品質管理の基本である検査精度を確実にするために、第三者機関による外部精度管理にも努めています。さらに、安全衛生面の社員教育も徹底しています。

■24時間365日、徹底した温度管理体制を構築
液卵・凍結卵などの原料となる鶏卵は、入荷後すぐに5℃以下の冷蔵庫に保管。その冷蔵庫には温度監視センサーが取り付けられ、24時間体制で監視されています。割卵後の液卵は、殺菌機により適正な温度で殺菌。その殺菌機には六打点式記録計が取り付けられ、常に殺菌温度は監視されています。殺菌後の液卵は、氷蓄熱方式で作られた0℃の冷却水により、急速に3℃まで冷却され貯蔵。充填後すぐに製品専用冷蔵庫に保管され、温度記録計を搭載した冷蔵車でお客様までお届けしています。

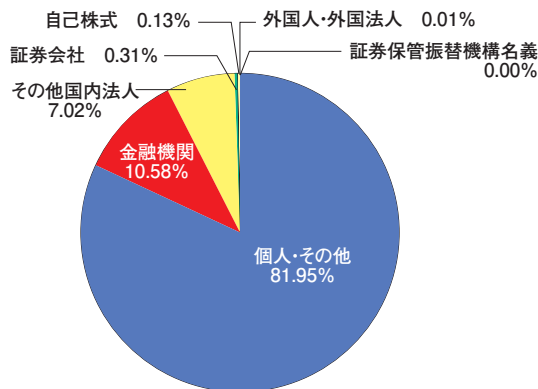


■安心の創造。
この挑戦に終わりはありません。当社では、安全で高品質の液卵・凍結卵を製造するために、HACCPの考え方に基いてゾーニングを明確化し、生産設備の配置を考慮し、汚染区と清潔区に区分して衛生管理を行っております。また、設備の稼動状況や工程管理をシステム化し、チェック体制を強化することにより、効率的に保守メンテナンスを行っております。このように、お客様へより安全で安心な製品を提供するため、積極的に最新鋭設備を導入し、衛生的・効率的に生産できる工場を目指しています。

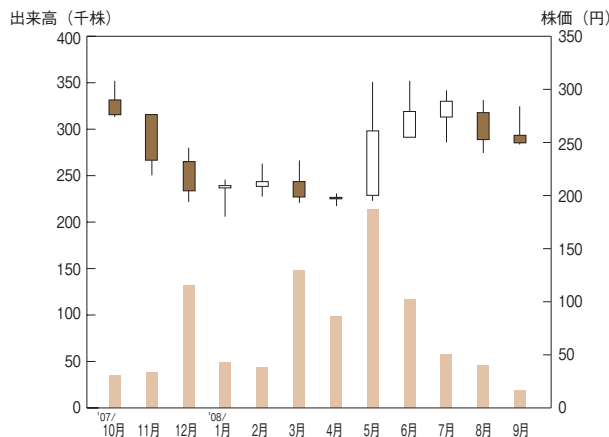
■発行可能株式総数	16,792,000株
■発行済株式の総数	5,563,580株
■株主数	2,356名

■所有者別分布状況

所有者区分	持株数(株)	比率(%)
個人・その他	4,559,517	81.95
金融機関	588,800	10.58
その他国内法人	390,440	7.02
証券会社	17,041	0.31
自己株式	7,272	0.13
外国人・外国法人	410	0.01
証券保管振替機構名義	100	0.00
合計	5,563,580	100.00



■株価及び株式出来高の推移



株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

- 株券電子化実施後の未払配当金の支払のお申出先
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
- 株券電子化実施後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受けられることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

記

- 口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同ご照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〔郵便物送付先〕中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
- 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

- 単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格をご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日(火曜日)までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
- 単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日(金曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当金支払株主確定関係／3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は9月30日といたします。
公告掲載方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 (〒105-8574) 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社証券代行部
同取次所	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株主ご優待について

贈呈基準	毎年3月31日現在の株主及び実質株主に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。 株式会社数100株以上1,000株未満 一律500円 (100円券×5枚) 株式会社数1,000株以上 一律2,000円 (100円券×20枚)
利用方法	全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際利用できます。
有効期限	発行日から5年
取扱店舗	全国の主な百貨店及びスーパー等 (詳しくは同封する書類に記載)



イフジ産業株式会社

福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 〒811-2312

TEL 092-938-4561 (代) FAX 092-938-5537

URL <http://www.ifuji.co.jp>